

郡赤西(1♀, 3-V1-1979), 美方郡扇ノ山[高橋, 1975]。

以上のごとくで記録は少いが県下に広く分布しているようだと言うことは良くわかる。

さて前胸背の側角に前上方に向う鋭いトゲのあるものは筆者は県下産を次のように所有している。即ち、宍粟郡福知深谷(1♀, 16-V1-1975, M. Yuma leg.), 美方郡湯村(1♀, 3-V1-1952), 長谷川氏は六甲山で8月に採集したキバラヘリカメムシの中にはトゲのあるものも混入していたと記しておられる。筆者は六甲山系でこのトゲのある方は採集していない。こちらの方も兵庫県下でどの様に分布しているのかこの僅かの例では見当がつかない。少くとも3ヶ所の産地からすれば県下全般に分布している種のように思はれる。

また長谷川氏によると8月末頃から11月にかけて採集される個体は肢の基部が紅色で5月から7月にかけて採れたものは黄色であると記しておられる。所有標本全部を調べたところでは8, 9月採集の標本はきれいな紅色で, 3~7月採集したものは黄色(7月のものは黄部がやゝ黒色であった)であった。

確かに兵庫県下には前胸背側方にトゲをもったものもっていないもの2種が分布しているわけでこの2種がどの様に県下に分布しているのかはもっと詳しい調査をしてみないとわからない。それと兵庫県下に於けるこのカメムシは年2回発生しているのだろうと思うがこちらも現在では良くわからない。採集もの今の所3~9月しか得ていなく(1982年10月29日長い継ぎ竿の網で樹の梢をユスってみたところ大変きれいな1♂が入って来た。その付近を何度かやって見たが1♂だけだった), 恐らく成虫越冬であろうから10月以後の成虫の採集がもっとあってよいと思はれる(東京では10月以降2回目の成虫が出るとのこと)。このあたりの調査もやらなくてはと考える。食草はツルウメモドキ, マサキ, ツリバナ, マユミ, コマユミ, ニシキギ等が知られている。又卵, 幼虫1~5令の図説が後藤 伸氏によってされている(四国昆虫学会々報, Vol. 3, No.3/4:55-57, 1952)。

オオツノカメムシ神戸市内での記録(追加)

高 橋 寿 郎

先号(Vol. 10, No. 2)でオオツノカメムシの記録を報告させて頂いたが松本健嗣氏がコレクションを整理していたら神戸市内で次の2♀を採集していると賀状で御教示頂いた。珍しい種であるから記録を発表しておく。御連絡頂いた松本氏に厚く御礼申しあげる。

採集地: 神戸市山の街(1♀, 22-V11-1974), 金剛童子山(1♀, 23-V-1974), 共に松本健嗣氏採集, 同氏所有。